

株式会社 三芳エキスプレス

会社概要

商号 株式会社 三芳エクスプレス

創業 昭和37年2月15日

所在地 本社 東京都江戸川区

市川営業所
市川第二営業所 千葉県市川市行徳

成田営業所 千葉県香取郡（成田空港近隣）

従業員数 管理部門職 35名

乗務員 208名

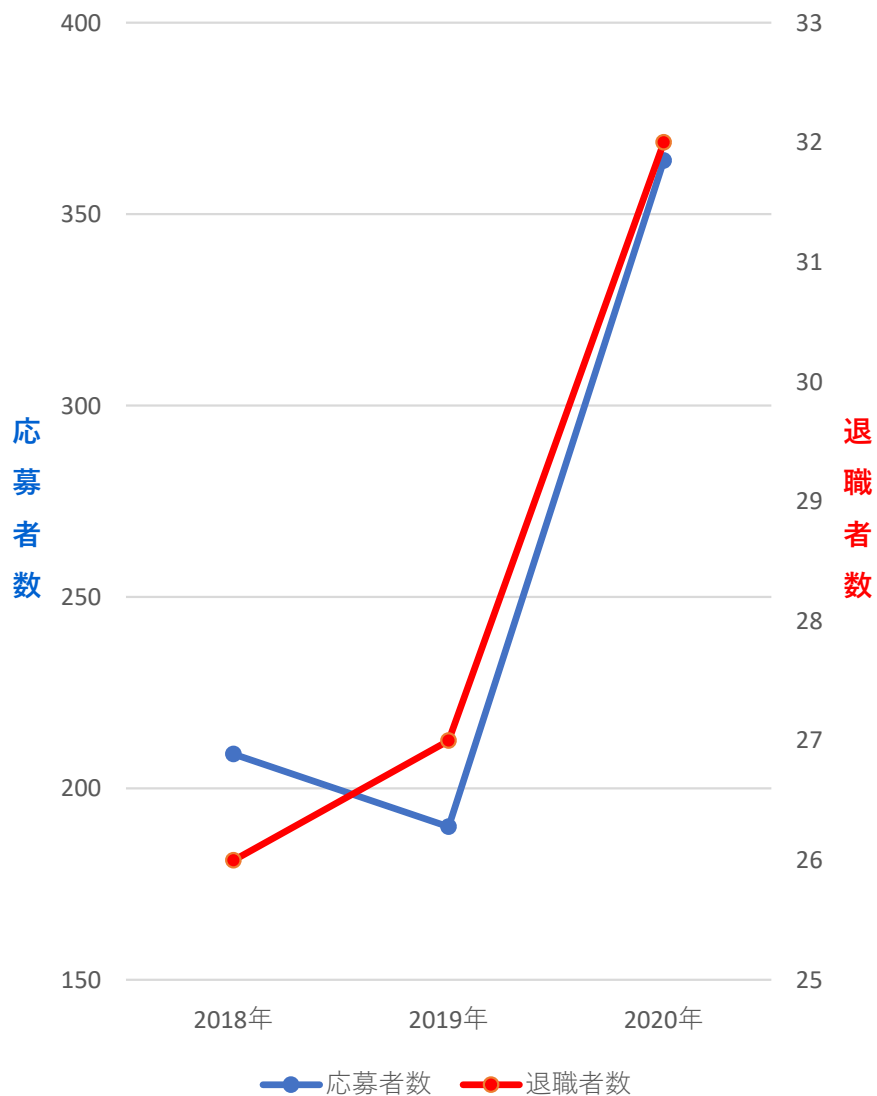
車両台数 218台

働きやすい職場認証制度取得まで

- 2020年10月 取り組み開始
- 2021年 4月 ★一つ星の取得
- 2023年 4月 ★★二つ星の取得

なぜ働きやすい職場認証制度を取ろうと考えたのか

応募者数と退職者数の推移



- 2018年から2019年にかけて応募者数が徐々に減少 ↓
- 2018年から2019年にかけて退職者数が徐々に増加 ↑
- 2019年末の コロナ渦より異業種からの応募者が急増
- 社内の受け入れ体制が追い付かず 退社数も急増



会社の機関決定



問題点の分析

分析①【労務環境】

ドライバーの特性

- 車両好きが多い
- 男性が多い
- 経験者、ベテランドライバーが中心
- プロフェッショナル集団

会社の特性

- 大型トラックが大多数
- 管理部門職とドライバーとの対話が少ない
(点呼時のみ)
- いわゆる昔ながらの運送会社

未経験者や異業種からチャレンジしにくい

人員数が停滞下降

分析② 【トラックドライバーに対する世間のイメージ】

- きつい ... 長時間、力仕事
- 怖そう ... 男性の職場
- 危険 事故、怪我



- ▶ 誰もが簡単に飛び込める世界ではない ◀
- ▶ 特に女性の転職先としては敬遠されがち ◀

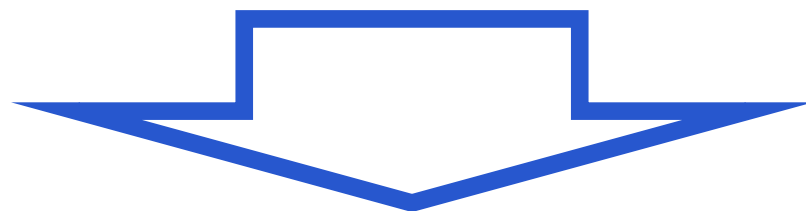
分析③【業界を取り巻く状況】

- 深刻なドライバー不足
- ドライバーの高齢化
- 燃料の高騰（会社の収益の減少）
- 物流2024年問題（労働時間の制限）
- 自動運転の試行



分析④【従業員が会社に求めるニーズの変化】

- 多少きつくても稼ぎたい



- 仕事と家庭の両立
- 安定的な収入
- 安心して働ける労働環境

この業界への転職を模索されている方から 選ばれる会社になるために

- 運送事業者に対する ネガティブイメージの払拭
 - 社会における物流業界のエッセンシャルワーカーとしての存在
 - 社会貢献
 - 将来性のある業界
- 性別や国籍、経験を問わず 誰もが安心して働ける環境作りが必要

① 組織・制度

- 育成指導専門セクションの新設
- 車両整備部門の強化
- 労務課の新設
- 免許・資格取得制度

② トラック・装備

- 1 t バン、2 t、4 t 車などの中型車の拡充
- A T 車の導入
- ウイング、ゲート車への入れ替え
- 通信型デジタコ、ドライブレコーダーを全車装備
- 化石燃料からの脱却に向けた水素内燃機関トラックの研究に協力

③ 広報活動

- SNSの積極的な利用



応募者数の推移



取り組みを行った中での問題点

- コミュニケーション不足
- 現場ごとに異なるルールや注意点に対する指導
- 人の多様化に比例する労働諸問題の複雑化
- 応募者数の増加による対応の漏れ

問題点の解決 < 1 >

- コミュニケーション不足

- 点呼時以外での声かけ

- 伝達や確認だけの対話ではなく、信頼関係構築を目的としたコミュニケーションへ

- 現場ごとに異なるルールや注意点に対する教育

- 独立していた育成指導部門を営業課の一部門へ変更

- 独り立ち後の環境に近い育成指導

- 新人研修後も指導員とコミュニケーションを取りやすい環境

- 独り立ち後の不安軽減

問題点の解決 < 2 >

- 人の多様化に比例する労働諸問題の増加
 - 新たに労務課を新設
 - 対応速度向上
 - よりきめ細かなケア

- 応募者数の増加による対応
 - ITツールを導入し応募から入社までを管理
 - リモート面接ができる環境の構築

今後の課題

- IT化など変化する業界への対応
- 次世代を担う若者の育成
- 安全面への更なる取り組み強化

働きやすい職場認証制度を取得して

- 労働集約型産業において**労働力確保は最も重要なファクター**
- 今後の**労働力確保には、誰もが働きやすい労働環境作りは必要不可欠**
- 今後も働きやすい環境作りを加速
- 世間に広く周知し、トラックドライバーへのネガティブなイメージを払拭したい
- **顧客、社会、従業員**から信頼され**選ばれる会社**を目指します。



★ご清聴ありがとうございました★